



日本みどりのプロジェクト 事業概要書

日本みどりのプロジェクト推進協議会

日本みどりのプロジェクトとは

設立趣意書

新型コロナウイルスが世界を一変させました。

今、全ての業界・業種で、新たな様式（生活・ビジネス）への適応とチャレンジが求められています。

また近年、異常気象による度重なる大規模自然災害の発生は、かつてない程人々に環境保全意識の高まりを生んでいます。

私達は、環境や社会よりも経済政策を優先させるのではなく、むしろこの機会をきっかけに脱炭素に向けた気候変動対策をさらに推し進め、生態系や生物多様性の保全を通じて災害や感染症などに対してより強靱かつしなやかな社会・経済モデルへと移行していくという「グリーン・リカバリー」を目指していくべきです。



私達は参加企業、都道府県をはじめとした自治体、大学や研究機関など産官学の様々なステークホルダーが、SDGsの取組拡大や自然を活かし、次世代へつなげるための新アイデアを具現化・新たな事業を創出する起点として、「日本みどりのプロジェクト推進協議会」を設立致しました。

この協議会の活動を通じて、例えばコロナ後の地方での新たな観光スタイルの確立や都市緑化への取り組みなど、自然との共生・調和を前提とした社会・経済活動へのシフトを促し、「自然（みどり）」を核としたSDGsに向けた取組みを全国各地で加速化させることにより、日本の、更には世界のゼロカーボン・脱炭素社会へ貢献することを目指します。

今こそ前に踏み出しましょう。

近年多発する自然災害の低減、多様な生態系保護の重要性、コロナ後の新たなLife Styleの提唱、2025年大阪・関西万博における世界へ向けた情報発信など、私達と一緒に、今までにない取り組みを始めましょう。

日本みどりのプロジェクト推進協議会
会長 阿部 守一

日本みどりのプロジェクト
JAPAN GREEN PROJECT



世界有数の自然との共生で世代を超えて、 豊かな生活とみどりを繋いでいく

～Green for Well-Being , Save The Earth～

①日本国民の自然（みどり・花）への意識醸成

自然を愛し、深く理解し、活用して守っていくという意識を日本国民一億三千万人の間で育み共有する

②自然（みどり・花）の事業創出

自然に関わる様々な産業の連携を推進してより多くの事業（Green Business）を創出する

③世界に向けた自然（みどり・花）の情報発信

自然を通して、大阪・関西万博や花博の場での「日本の自然のショーケース」として、自然保護と利活用の精神を世界に発信していく



「日本みどりのプロジェクト」が好循環を生み出す！

《学ぶ》

《増やす》

《活かす》

《伝える》

1. **学 ぶ** : 国民的運動につながる、自然（みどり）に触れ、学ぶ機会の創出
2. **増やす** : 教育機関や企業との協働による植樹や都市緑化の推進とSDGs関連の新事業の創出
3. **活かす** : 国立・国定公園の自然環境保全とともに、上質化を図り持続可能な利用や、上質な自然環境の効用を活用して行う活動の推進
4. **伝える** : 2025年大阪・関西万博などを活用した国内外への情報発信



日本みどりのプロジェクトのビジョン

世界的な気候変動への対応は、国や企業にSDGsやESGへの取組みの具体化へ繋がっています。世界でも有数の森林比率を誇る日本でも自然を整備し守り、また活用していく段階にあります。コロナ禍の下、自然に触れ体験する新たなニーズが生まれ、各地での取組みの機会が拡大しています。

日本みどりのプロジェクト推進協議会では、日本の自然（みどり）を核に都市と地方が連携し、以下の事項を達成します。



地方創生の実現

- ・ 交流人口の拡大を図り経済の好循環を創出
- ・ 環境を意識した新たな、商品価値、産業、ビジネスの創造による雇用創出



ゼロカーボン・脱炭素社会

- ・ SDGsへの取組みを通じて、ゼロカーボン、脱炭素社会に貢献
- ・ 日本の守るべき緑を次世代へ継承
- ・ 取組みのオールジャパンへ拡大



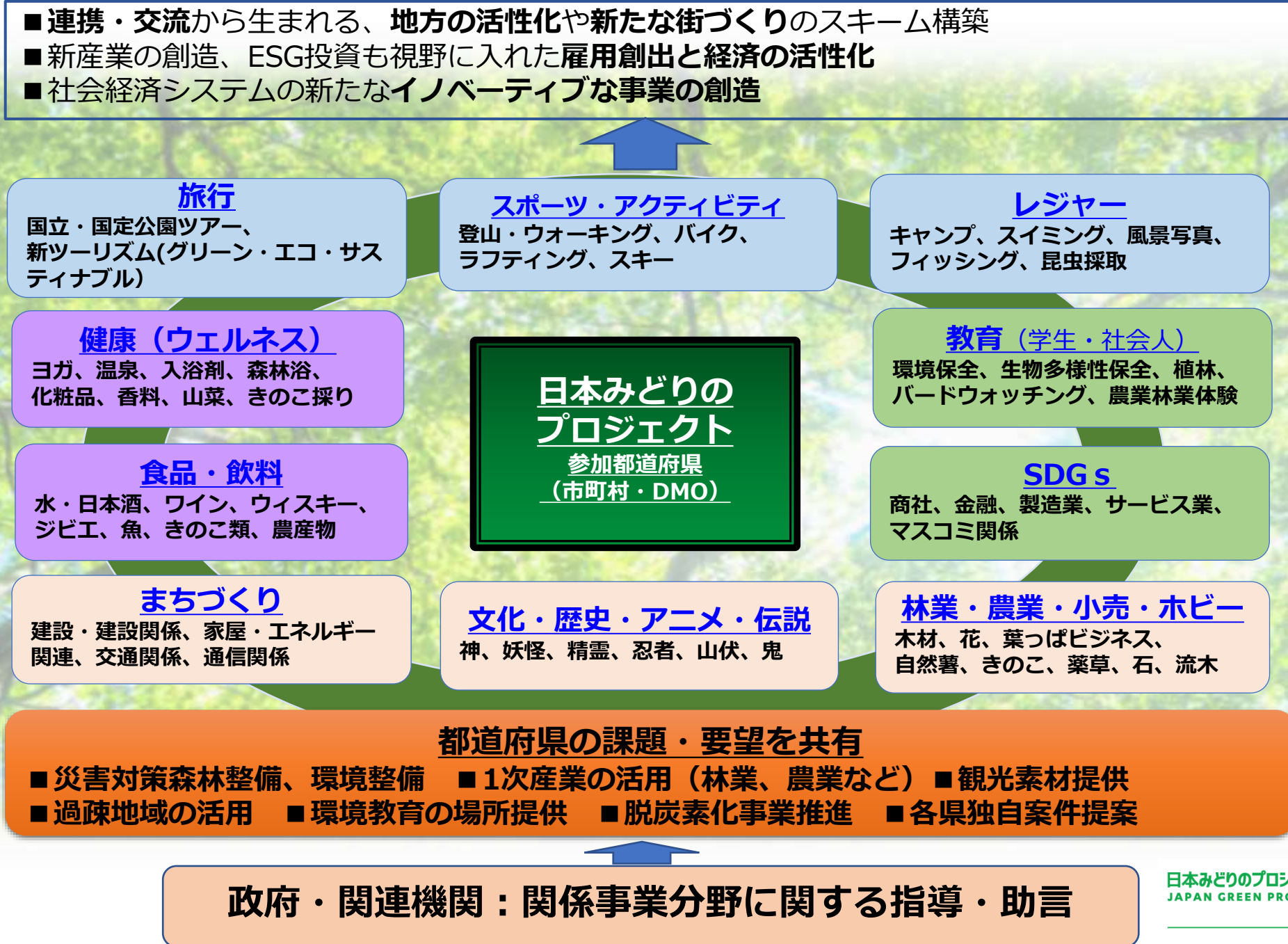
生物多様性の保全

- ・ 多様な主体との連携により生物多様性を保全
- ・ New Normalな地方創生、観光立国の実現





参画する企業と団体の連携イメージ



日本みどりのプロジェクト

会員（企業・団体・自治体等）

環境省・総務省・農水省国土交通省・林野庁・観光庁など

提言・相談

会員さまへの（提供価値）

- ネットワーク構築
国・自治体・企業横断的なネットワーク構築
- 情報発信
各プロジェクトの横断的な情報共有・国側への情報発信
- フィールド提供
行政・民間事業者が実施できるフィールドを提供する

日本みどりのプロジェクト推進協議会

(会長) 阿部守一 長野県知事
 (副会長) 鈴木英敬 三重県知事 濱田省司 高知県知事
 蒲島郁夫 熊本県知事 平井伸治 鳥取県知事
 溝畑 宏 大阪観光局理事長

■事務局：長野県、（一社）長野県観光機構、（公財）大阪観光局、（一社）ナショナルパークスジャパン、（一社）テラプロジェクト

アンバサダー

市川海老蔵・隈研吾・渡辺謙 ほか予定

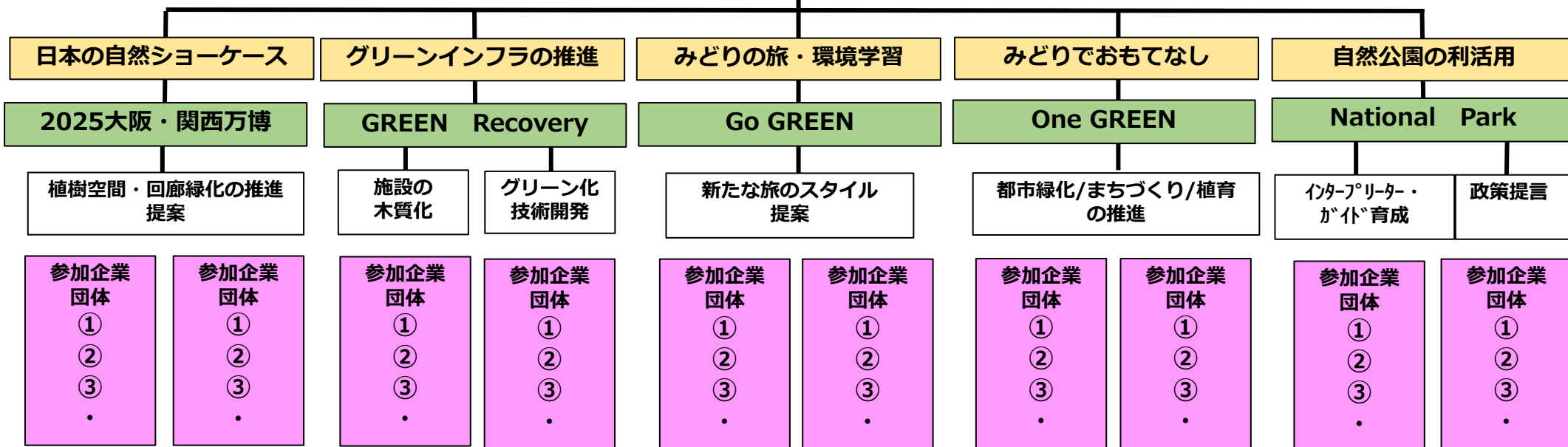
アドバイザー

涌井雅之・小林昭雄・星野佳路・田子和則 ほか予定

協力団体

日本国際博覧会協会、智の木協会 ほか予定

敬称略



プロジェクトの企画立案から事業の展開へ



自然を愛し、
深く理解し、
活用し守る。

① 学ぶ

② 増やす

③ 活かす

④ 伝える



プロジェクトのご紹介（令和3年度）

① 2025大阪・関西万博「日本の自然のショーケース」実現プロジェクト

日本各地の自然や木材の活用及び「日本の自然のショーケース」としての情報発信

日本各地の**自然や木材の活用**を推進するとともに、日本各地の**自然や日本発の先進的環境技術等の情報**を発信する「日本の自然のショーケース」の実現に向け準備を進める。

活動内容	
1	日本の森林を守る国産材（間伐材を含む）活用を提案、2025大阪・関西万博会場の円周大回廊（全長約2km）の木質化と静けさの森へ関与していく。 ※使用した木材は全国各地でのリユースを目指す。
2	日本みどりのプロジェクトや各会員の取り組み、会員自治体エリアの自然の景勝地などの情報を、万博会場、パビリオン、WEB上などで紹介、広く世界へ発信するための計画を策定する。
<p>（参考）2025大阪・関西万博会場整備・開催計画 （（公社）2025年日本国際博覧会協会作成・2020年12月時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地造成 2020年度～2022年度末 ・会場内基盤・インフラ 2021年度～2022年度上期：設計 2022年度下期～2024年度末：工事 ・パビリオン 2021年度～2022年度末：設計 2023年度～2024年度末：工事 <p>※2025大阪・関西万博開催期間 2025年4月13日（日）～10月13日（月）</p>	



プロジェクトのご紹介（令和3年度）

② Green Recovery プロジェクト

産官学連携により、コロナ禍からの経済回復と環境問題解決を同時に推進

木質化推進や国産材利活用による持続可能な林業や地域循環・自然共生社会の実現に向け、産官学連携の取り組みを推進、具体的事業の組成につなげていくことを目指す。

活動内容	
1	<p>【木材活用セミナー】</p> <p>日本がゼロカーボン社会実現に向けシフトする中、地方部・都市部における公共・民間施設の木質化のさらなる推進と国産材利活用及び持続可能な林業を目指した取り組みや上下流連携にかかる議論を通じ、参加者同士で具体的事業の組成につなげていくことを目指す。</p> <p>〈時期〉2021年10月21日（木）（予定）</p> <p>〈場所〉長野県（飯山市）及びオンライン</p> <p>〈実施主体〉日本みどりのプロジェクト推進協議会</p> <p>〈参画自治体〉長野県・高知県他 〈参加者〉約200名（予定）</p>
2	<p>【地域循環・自然共生フォーラム】</p> <p>神戸大学SDGs推進室と連携し、ウィズ/アフターコロナにおける地域循環・自然共生社会についての産官学連携プロジェクト創出に向け、各地域・機関における事例発表等を実施。</p> <p>〈時期〉2021年8月28日（土）（予定）</p> <p>〈場所〉オンライン</p> <p>〈実施主体〉神戸大学SDGs推進室地域循環・自然共生社会推進プロジェクト</p> <p>〈後援〉日本みどりのプロジェクト推進協議会</p>
3	<p>各団体におけるGreen Recovery プロジェクトへの取り組みを促進するために、事業への後援やホームページでの情報発信を行うとともに、より効果的な取り組みとなるよう、事務局にて各取り組みのマッチングをコーディネートする。</p>



プロジェクトのご紹介（令和3年度）

③ Go Green プロジェクト

自然（みどり）を核にアフターコロナを見据えた新たな旅を提案

次世代を担う若者と造成する新たな旅の提案やカーボンオフセット旅行の普及を通じて、自然環境への理解やカーボンゼロに向けた一人ひとりの行動変容につなげる。

活動内容	
1	<p>【若者と造成する新たな旅の提案】</p> <p>環境省の「国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業」を活用し、長野県内を舞台に、次世代を担う若者たちと一緒に新たな旅の提案や磨き上げを行い、世界に誇る日本の自然を代表する国立公園等での理念の普及を図る。</p> <p>〈時期〉2021年9月25日（土）～26日（日）（予定）</p> <p>〈場所〉長野県（松本市ほか）</p> <p>〈実施主体〉Go Green プロジェクト長野実行委員会</p> <p>〈参加者〉全国の観光を学ぶ高校生・大学生 約100～150名（予定）</p>
2	<p>【カーボンオフセット旅行の普及】</p> <p>SDGs・ゼロカーボンへの世界的な関心が高まる中、首都圏や関西圏から新幹線を利用した長野方面への旅行にカーボンオフセットを組み込んだ商品（※）を企画、販売促進を行うとともに、他地域での旅行商品造成を検討する。</p> <p>〈主催旅行会社〉日本旅行</p>
3	<p>【みどりの学習旅行の提案】</p> <p>観光中心からSDGsを学ぶための学習旅行ニーズの高まりに対応した森林・林業体験等の「みどりの学習旅行SDGsプログラム」を造成提案する。</p> <p>〈造成エリア（目的地）〉長野県、高知県等</p> <p>〈提案エリア（出発地）〉関西圏</p>
4	<p>各団体におけるGo Green プロジェクトへの取り組みを促進するために、事業への後援やホームページでの情報発信を行うとともに、より効果的な取り組みとなるよう、事務局にて各取り組みのマッチングをコーディネートする。</p>



（※）鉄道利用でのCO2排出量相当額の追加代金を旅行参加者に支払ってもらい、旅行会社はこの代金でJクレジットを購入、排出量の埋め合わせ（オフセット）を行う。Jクレジットの購入代金は森林整備等の活動に充てられる。



④ One Green プロジェクト

みどりの優位性を活用し、QOL向上に必要な新しいニーズを掘り起こし、産業化するための産学官連携システムの構築と運用を行う。

都市と地方の交流に資する新しいニーズを共有し、産業化するための産学官連携支援とプロジェクトづくりを行い、生活環境にみどりの素晴らしさを取り入れることで**QOL向上を目指す**。

活動内容	
1	<p>【Green Hospitality Osaka シンポジウム】 「みどりのイノベーション推進会議」（（公財）大阪観光局・（一社）テラプロジェクト共催）が主催するシンポジウムを開催、様々な主体者によるOne Green活動の取組み事例の発表を通して、新たな植・食文化“みどりでおもてなし文化”関連の産業化モデルを大阪から世界に発信する。 〈時期〉2021年11月19日（金）（予定） 〈場所〉大阪及びオンライン 〈実施主体〉日本みどりのプロジェクト推進協議会 （公財）大阪観光局 （一社）テラプロジェクト</p>
2	<p>【One Green プロジェクト分科会（複数回開催）】 QOL向上のために、「植・食、健康分野の新しいニーズの掘り起こしと産業化」をテーマにした新しい時代の産学官連携モデルのイメージを共有することで、これまでのみどりの産業化の課題整理と具体的なアクションプラン構築を行う。 〈時期〉2021年12月～（予定） 〈場所〉大阪及びオンライン 〈実施主体〉日本みどりのプロジェクト推進協議会 （一社）テラプロジェクト</p>
3	<p>各団体におけるOne Green プロジェクトへの取り組みを促進するために、事業への後援やホームページでの情報発信を行うとともに、より効果的な取り組みとなるよう、事務局にて各取り組みのマッチングをコーディネートする。</p>



産業化モデルの一例
みどり版ミシュランの発行
（みどり化の評価基準作り）



果樹による都市部でのみどりの回廊作り



みどりをテーマにしたコトづくり



プロジェクトのご紹介（令和3年度）

⑤ National Park プロジェクト

国立・国定公園等における保護と利用の推進

民間活力の活用により、地方自治体が抱える**自然公園にかかる課題**を解決、**自然保護と公園の利活用**を推進する。

活動内容	
1	<p>【自然公園における民間活力活用プロジェクト】</p> <p>自治体・民間企業との対話を通じ、地方自治体が抱える自然公園にかかる課題（遊歩道等インフラ整備、アクティビティの充実等）に対して、民間事業者からの提案をマッチングさせることで、民間活力活用による解決を図ることを目的とした勉強会を各地で開催する。</p> <p>〈時期・場所〉 2021年5月26日（水） 鳥取県鳥取砂丘西側エリア（山陰海岸国立公園） 2021年8月5日（木）～6日（金） 長野県宮田高原（中央アルプス国定公園） 2021年度内（予定） 三重県 新潟県</p> <p>〈実施主体〉日本みどりのプロジェクト推進協議会</p>
2	<p>各団体におけるNational Parkプロジェクトへの取り組みを促進するために、事業への後援やホームページでの情報発信を行うとともに、より効果的な取り組みとなるよう、事務局にて各取り組みのマッチングをコーディネートする。</p>



スケジュールのご紹介（令和3年度）

⑥ 日本みどりのプロジェクトシンポジウム

会員様、関係機関、アンバサダー等が一同に会するシンポジウムを開催

〈時 期〉 2021年8月25日（水）

〈場 所〉 オンライン

〈参加者〉 約150名

（会員・準会員(自治体・企業・団体)、国・関連機関、有識者等）

〈内 容〉 主催者挨拶、基調講演、活動計画説明、会員リレーメッセージ等



⑦ ツーリズムEXPOジャパン2021 大阪・関西 →

延期

「ツーリズムEXPOジャパン2021 大阪・関西」へ参加、プロジェクトの取り組みをPR

〈時 期〉 2021年11月25日（木）～28日（日）（予定）

〈場 所〉 インテックス大阪（大阪市）

[参考] 前回大阪開催（2019年）時の開催状況

開催期間：2019年10月24日（木）～27日（日）

出展者数：全国47都道府県・100か国・地域、1,475企業・団体

来場者数：151,099人

「日本みどりのプロジェクト推進協議会」の主な事業と機能（会員特典）

1. 「日本みどりのプロジェクト」シンポジウムへの参加

～地域の情報を全国へ、全国を地域へ～

※年に1回会員自治体（会長県中心）さまの持ちまわりで、産学官民によるオープンなシンポジウムを開催

1日目
【基調講演】(知事)
【特別講演会】(外部ゲスト)
 昼食(ランチョンセミナー/わがまち物産PR)
【分科会】(各会場:新しい価値観の創生)
【分科会報告】(セッションリーダー)
【総括】【交流会]

2日目
【ビジネスマッチング】(主催:自治体)
【エクスカージョン】(みどりとのかれ合い)



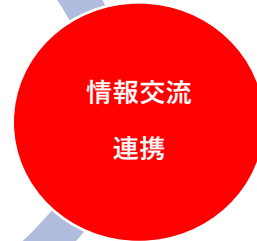
2. 各プロジェクト部会での活動

～5つのプロジェクトからスタート～

※会員限定で各種課題（部会など）に対する意見交換や新しいテーマを企画・議論する場を設定。派生して新たなプロジェクトも。



- | | |
|--------------------|-------------------|
| ①2025大阪・
関西万博 | ④One Green |
| ②Green
Recovery | ⑤National
Park |
| ③Go Green | |



3. 会員相互の情報共有広報活動

- ・会員内・外向け情報発信充実を図る。
- ①会員情報及び会員の環境配慮の取組み情報
- ②会員同士のマッチングやコラボレーションに繋がる定期・不定期の情報発信
- ③アンバサダーを利用した会員内・外への情報発信
- ④会員及び会員外も役立つイベントスケジュールの告知
- ⑤HP流入につながるWeb・SNSを利用した啓発情報の発信

4. 国内外の（部会）関係者との情報交換・交流

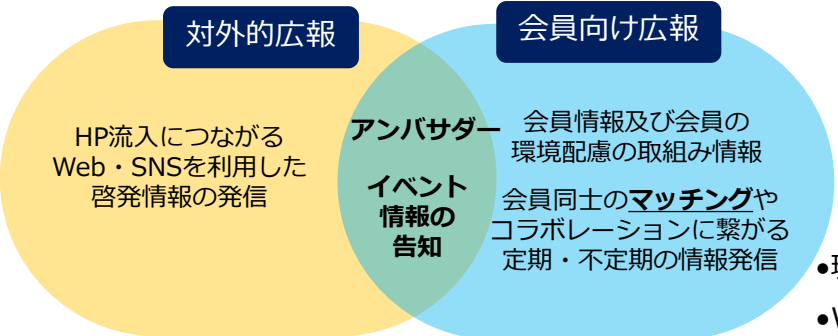
～世界各地のみどりビジネスモデルを紹介～

※国内外の公園他、観光ネットワーク団体などとの連携及びワークショップの企画・実施など

5. 国・行政・大学との連携

～産学官民が連携した活動を支援～

※自治体と連携し公共空間の有効活用やイベント活動支援内閣府など行政や大学との意見交換



6. シンボルデザインの活用



シンボルデザイン 例

7. ホームページの連携

- 環境配慮の取組みの紹介
- Web・SNSを利用した啓発情報発信



入会いただきますと、会費に応じた特典の提供が用意されております。
詳しくは、事務局にご確認いただき、ご検討ください。

提供項目		年会費 (単位: 円)				
分類	内容	500,000	300,000	100,000	※50,000	※10,000
情報発信	HPへの掲載 ※額により差があります	○	○	○	○	×
	会員情報配信	○	○	○	○	○
シンポジウム	講演会参加 事業部会 (ワークショップ)	無料				
	交流会	有料 ※交流会への参加費用については都度ご案内				
事業・プロジェクト	新事業 (プロジェクト) 提案	○	×	×	×	×
	プロジェクトへの参加	○	○	△※応相談	△※応相談	×
	マッチングサポート	○	○	×	×	×

※印は、個人事業主、個人会員を対象としています。



「日本みどりのプロジェクト」にご賛同いただける、企業を広く募集しています。

プロジェクトへの参加をお考えの企業様は、以下のステップで「参加申込書」を右記までお送りください。

事務局 一般社団法人 テラプロジェクト
問い合わせ先 TEL: [06-6312-3407](tel:06-6312-3407)
申込書送付先 info@midori-project.jp

入会参加の手順

ステップ1

- ① 日本みどりのプロジェクトホームページをご覧ください。
- ② Participate 参加申し込みについてをご覧ください。
- ③ 規約・規程・申込書ダウンロードから様式をダウンロードしてください。
- ④ 申込書に必要事項を記入いただき、上記にお送りください。

ステップ2

事務局より、会費に応じたご請求書をお送りします。

ステップ3

所定の銀行口座にお振り込みください。

入会後には、事務局からWeb掲載の案内・関連資料や情報を定期的に配信させていただきます。

過去の活動アーカイブ

■日本みどりのプロジェクト 2021年10月25日 設立総会・シンポジウム 記念写真 (場所：八芳園)



■日本みどりのプロジェクト推進協議会

会長	長野県	阿部知事
副会長	高知県	濱田知事
	三重県	鈴木知事
	鳥取県	平井知事
	熊本県	蒲島知事
	大阪観光局	溝畑理事長

基調講演 小泉環境大臣
アンバサダー 市川海老蔵氏
(VTR参加 渡辺 謙氏 隈研吾氏)

■基調講演 環境大臣 小泉進次郎 氏



■日本みどりのプロジェクト推進協議会 設立総会 ■市川海老蔵氏 トークセッション

